

10代 の 意見

画面の祖母と
会話した冬休み

◇今年の冬休みは、行った

い所へも行けず、会いたい人にも会えない、去年までとは違う冬休みを過ごしました。そんな冬休みでもうれしかった出来事があります。それは、東京に住んでいる祖母と祖父、母の兄と、ビデオ通話をしたことです。

◇東京に住んでいる祖母と祖父には、コロナ禍により去年の1月から一年以上、会うことができず。以前は、学校が休みの期間になれ

ば必ず祖母と祖父の家を訪れ、いろいろな話をしながらゆつくり過ごしていました。学校や趣味の話をすると、いつも笑顔で聞いてくれました。また私は、祖母の料理を食べるのが本当に楽しみでした。

◇いつもの年とは違い少しさびしいお正月を過ごしていた時、伯父から母の携帯に電話がありました。母が私に電話を代わってくれた時、見なれた祖母の居間が映っていました。その後、祖母と祖父が画面に現れました。祖母と祖父と私とで、「元気でよかった。会いたいね」と久しぶりに顔を見て話すことができました。私は、通信技術の進歩に感謝すると同時に、改め

て今まで過ごしてきた日常は当たり前ではなく、一日一日が大切だと実感しました。今の世の中の状況は、社会のさまざまな機関や生活が大変で自由ではありません。ですが私は、このような状況だからこそ、今自分の目の前にある課題を見つけて取り組み、日常のありがたさに感謝し、マスクを外せる日が来ることを祈ります。

(山梨英和高3年・堀内遥香)